



<令和5年度 10月号>

令和5年9月29日

横浜市立新石川小学校

# 学校だより

【学校教育目標】

豊かなかかわりを通して  
ともに高め合い 主体的に取り組む子

学校 HP はこちらから

TEL911-6281 FAX912-4892



## 宇宙から地球を眺めると…

校長 小嶋 千里

先月8月26日、宇宙飛行士の古川聡さんが宇宙へ出発のニュースが流れました。今は国際宇宙ステーションに長期滞在中です。古川さんは横浜のご出身で、実は以前私が勤務した間門小学校（中区）の卒業生でいらしたということで、当時、子どもたちの要請に応じて小学校に来てくださりお会いする機会に恵まれました。大学卒業後、医師として活躍されていましたが、夢だった宇宙飛行士に挑戦したそうです。

（小さいころは「ウルトラマン」に憧れていたそうです！）

そんな古川さんはインタビューでこんな話をされていました。「宇宙空間に行っすぐの時は、みんな「あ、日本だ」「あ、アメリカだ」「あ、ロシアだ」とか（自分の国を）さしているんですけど、段々そういうこと言わなくなってくるんですね。地球全体が故郷だと思うように感じるんです。」

見る場所が変わると、もののとらえ方も変わってきます。小学校の子どもたちは、ものの見方やとらえ方を広げている真っ最中ですので、学校では様々な「異なるもの」と巡り合いを大切にしています。かかわりの中で視野を広げ、自分のもののとらえ方を広げたり、相手の思いや考えを尊重したりする力を培っていきます。思い通りにならないことも子どもにとっては成長の糧となります。

学校では10月14日に行われる運動会へ向けて活動が始まっています。実行委員、リレー、応援団、係など発達段階に応じて練習や準備の過程で様々なかかわりをもてるように工夫してまいります。クラスや学年を超えた活動ならではの気づきの多い行事です。保護者の皆様にもぜひ当日までの取組を含めて子どもたちへのご声援をお願いいたします。

さて、10月6日（金）には前期の終業式を迎えます。子どもたちは「あゆみ」を担当から受け取ります。現行学習指導要領では、学んだことの活用や表現に重きがおかれ、評価の観点は3観点です。しかし、一人ひとりのお子さんのやる気や感性、思いやりなどは、観点別評価や評定（ABCや321）にはなじまないもの、示しきれないものです。そうした個人のよい点や可能性、進歩の状況については、積極的に言葉で伝えてまいります。お子様が「あゆみ」を持ち帰りましたら、ぜひ一緒にご覧になり、お子様のよかった点をたくさんの言葉で褒めていただけたらと思います。後期もどうぞよろしくお願い申し上げます。



校庭のバスケットコート横のリンゴの木に実がなりました！